

RECEIVE

©2009 J-MAC SYSTEM, INC. All rights reserved.

このソフトウェアの著作権は、株式会社ジェイマックスシステムにあります。

VOX-BASE PERSONAL/RECEIVE 2.0 User's Guideは、株式会社ジェイマックスシステムが作成したものです。

このソフトウェアおよび本書の一部または全部を、当社に無断で使用・複製・転載することはお断りいたします。

このソフトウェアの仕様、および本書の内容は、その後の改良や改善などに伴い、予告なしに変更することがあります。

VOX-BASEは、株式会社ジェイマックスシステムの日本における登録商標です。

そのほか、本書に記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

このガイドの使い方

このガイドの読み方

このガイドは、VOX-BASE/RECEIVEの操作方法を解説しています。このガイドの概要は次のようになっています。

第1章 VOX-BASE/RECEIVEの概要

この章では、VOX-BASE/RECEIVEのしくみや特長について説明しています。

第2章 VOX-BASE/RECEIVEの操作

この章では、ウィンドウの各部名称や働き、サービスの開始や停止方法などのVOX-BASE/RECEIVEの操作方法について説明しています。

第3章 サービス設定

この章では、VOX-BASE/RECEIVEのサービスに関する設定について説明しています。

第4章 オプション設定

この章では、VOX-BASE/RECEIVEのオプションに関する設定について説明しています。

ガイドに使用している図は、操作の説明のためのものです。設定内容やデータなどは、実際にお使いいただく製品と若干異なる場合があります。

このマニュアルは、Windowsの基本的な使い方をマスターしていただいていることを前提に説明しています。

ガイドでの表記

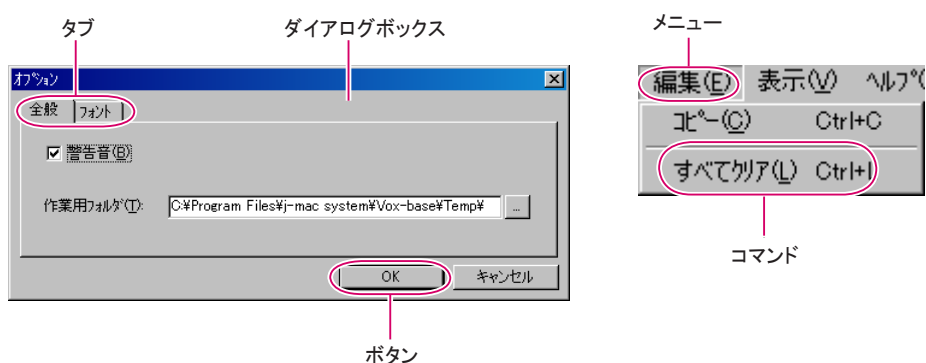
メニュー・コマンド・設定項目などの表記

メニュー名、コマンド名、ダイアログボックス名、ダイアログボックス内の項目名やボタン名などは、**[]**で囲んで表記します。




ガイドでの表記例

[オプション]ダイアログボックスの[全般]タブ上にある[警告音]をチェックします。[OK]をクリックします。

[編集]メニュー→[すべてクリア]をクリックします。



アイコン・記号の見方

アイコン・記号	種類	説明
	重要	その機能を使用するうえで、注意していただきたいことです。
	参考	操作手順についての補足、ヒントなど知っておくと便利な情報や、本文の内容に関する、より詳しい情報です。
	手順	操作手順の説明です。
※	注記	本文中の注記です。本文中に※とあるときは、その下に説明があります。

目次

第1章	VOX-BASE/RECEIVEの概要	1
	VOX-BASE/RECEIVEのご紹介	1
第2章	VOX-BASE/RECEIVEの操作	2
	起動と終了	2
	各部の名称と働き	3
	サービスの開始と停止	5
	ログ出力ウィンドウの編集	7
第3章	サービス設定	8
	[TCP/IP]タブの設定	8
	[SCP]タブの設定	11
	[SCU]タブの設定	12
	[フォルダ階層]タブの設定	14
	[ログ]タブの設定	16
第4章	オプション設定	18
	[全般]タブの設定	18
	[フォント]タブの設定	19

第1章

VOX-BASE/RECEIVE の概要

VOX-BASE/RECEIVE のご紹介

VOX-BASE/RECEIVE 2.0 (以降、RECEIVE) は、TCP/IP 上位層で動作する、DICOM 通信アプリケーションです。モダリティやワークステーション等から転送される画像の受信や、ハードディスクなどのストレージデバイスへの保存・管理などの機能を持っています。

RECEIVE には、次のような特長があります。

- ・ マルチコネクションに対応し、複数相手からの画像転送を同時に受信できます。
- ・ IPアドレスまたはAE名称を指定することで画像受信の可否を設定できる、セキュリティ機能があります。
- ・ 受信した画像を、転送元AE名称や検査情報で分類し、別々のディレクトリに保存できます。
- ・ 接続状況をリアルタイムに表示できます。
- ・ 操作方法は、標準的なWindowsのアプリケーションと同様です。特別な操作方法を覚える必要がなく、操作が容易です。

第2章

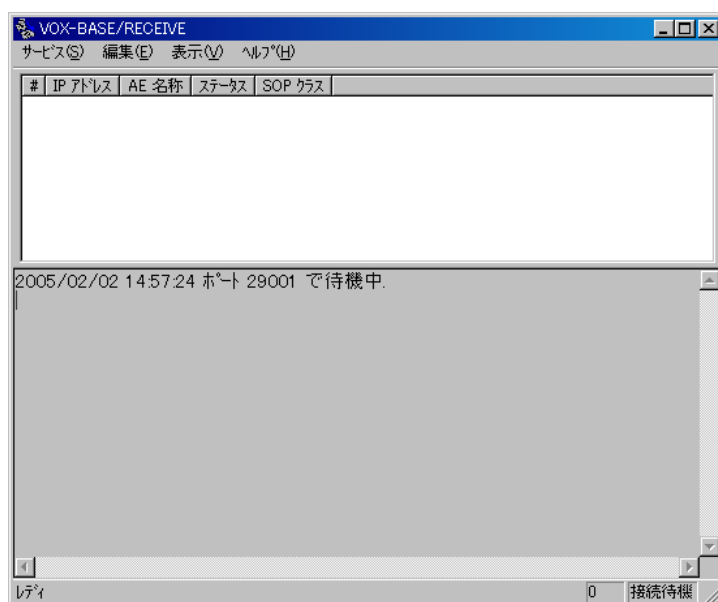
VOX-BASE/RECEIVE の操作

起動と終了

RECEIVE を起動する

手順  スタート → [プログラム] → [VOX-BASE II] → [Receive 2.0] をクリックします。

RECEIVE が起動し、[VOX-BASE/RECEIVE] ウィンドウ (以降、メインウィンドウ) が表示されます。



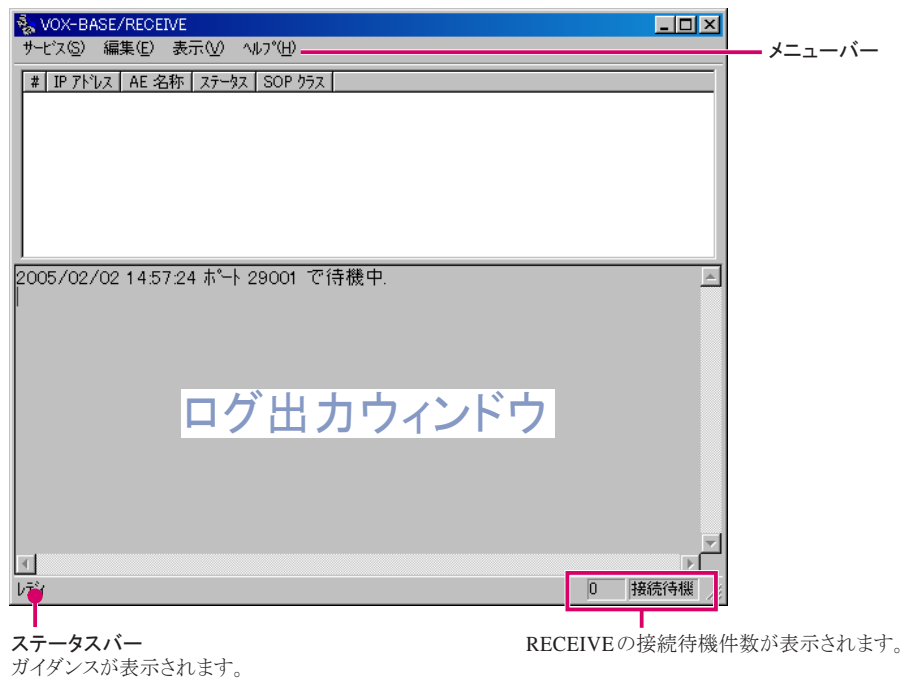
RECEIVE を終了する

[サービス]メニュー → [終了] をクリックします。
メインウィンドウが閉じられ、RECEIVE が終了します。

各部の名称と働き

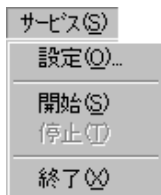
ここでは、メインウィンドウのメニューバーやツールバー、各部名称と機能について説明します。

メインウィンドウ



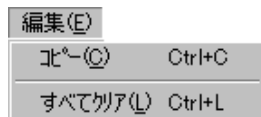
メニュー

[サービス]メニュー



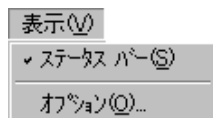
- ・ **設定**
[サービスの設定]ダイアログボックスを表示します。
- ・ **開始**
サービスを開始します。
- ・ **停止**
サービスを停止します。
- ・ **終了**
RECEIVEを終了します。

[編集]メニュー



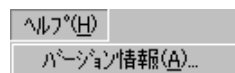
- ・ **コピー**
ログ出力ウィンドウの情報をコピーします。
- ・ **すべてクリア**
ログ出力ウィンドウの情報を消去します。

[表示]メニュー



- ・ **ステータスバー**
ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。
- ・ **オプション**
[オプション]ダイアログボックスを表示します。

[ヘルプ]メニュー

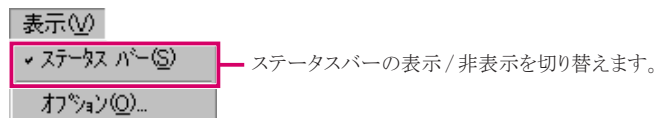


- ・ **バージョン情報**
プログラムのバージョン情報を表示します。

ステータスバーの表示、非表示を切り替える

ステータスバーは、表示 / 非表示を切り替えられます。

- 手順** [表示]メニュー → [ステータスバー]をクリックします。
[ステータスバー]がチェックされているとき、ステータスバーはウィンドウ上で表示されています。クリックするとチェックが外れ、ステータスバーは非表示になります。



サービスの開始と停止

サービスを開始する

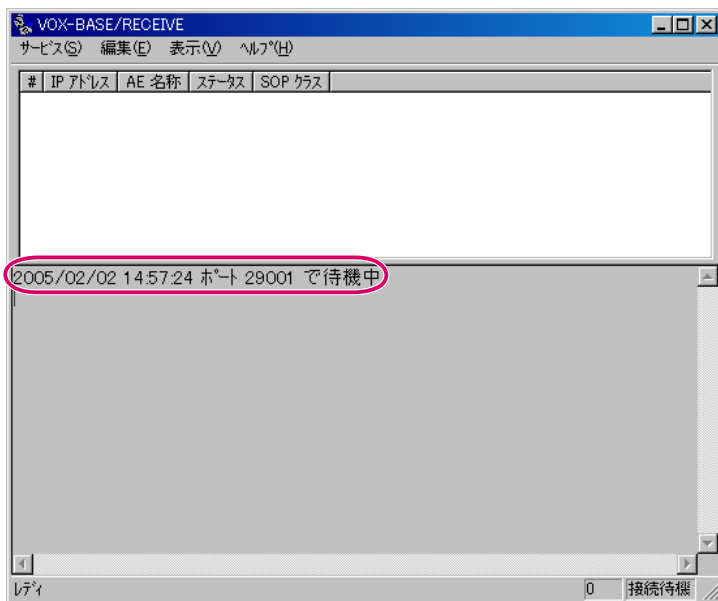
サービスを開始すると、モダリティやワークステーション等から転送されてくる画像をいつでも受信できます。



初めてサービスを開始する場合は

「[第3章 サービス設定](#)」<P.8>を参照し、あらかじめサービスに関する設定をしてください。

- 手順** [サービス]メニュー → [開始]をクリックします。
サービスが開始され、「<サービス開始日時>ポート<ポート番号>で待機中」というメッセージがログ出力ウィンドウに表示されます。





起動時にサービスを開始するには

[サービスの設定]ダイアログボックスの[TCP/IP]タブの[起動時にサービスを開始する]をチェックすると、画像保存サービスが、RECEIVE起動と同時に自動的に開始されます。詳しい操作手順は、「第3章 サービス設定」の「[\[TCP/IP\]タブの設定](#)<P.8>」をご覧ください。

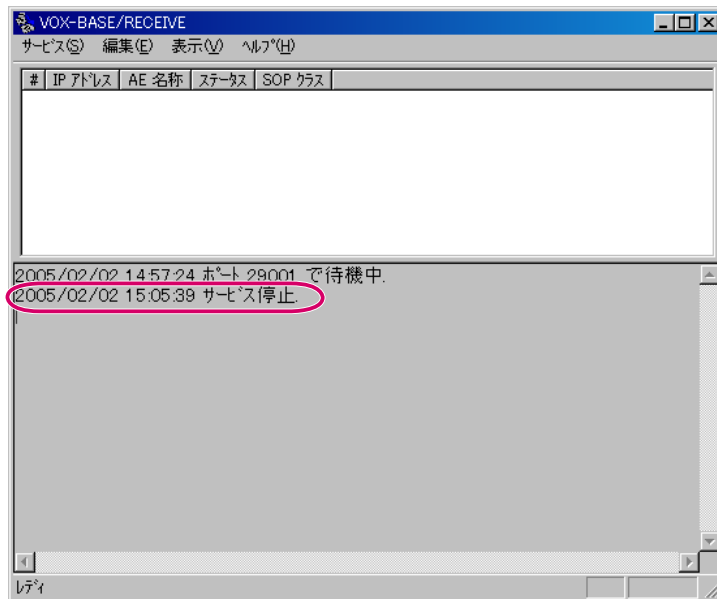
サービスを停止する

サービスに関する設定を変更する場合、あるいは、画像の受信を一時的に停止する場合に、サービスを停止します。サービス停止中は、モダリティやワークステーション等から転送されてくる画像を受信できません。



[サービス]メニュー → [停止]をクリックします。

サービスが停止され、「<サービス停止日時>サービス停止」というメッセージがログ出力ウィンドウに表示されます。



ログ出力ウィンドウの編集

ログをコピーする

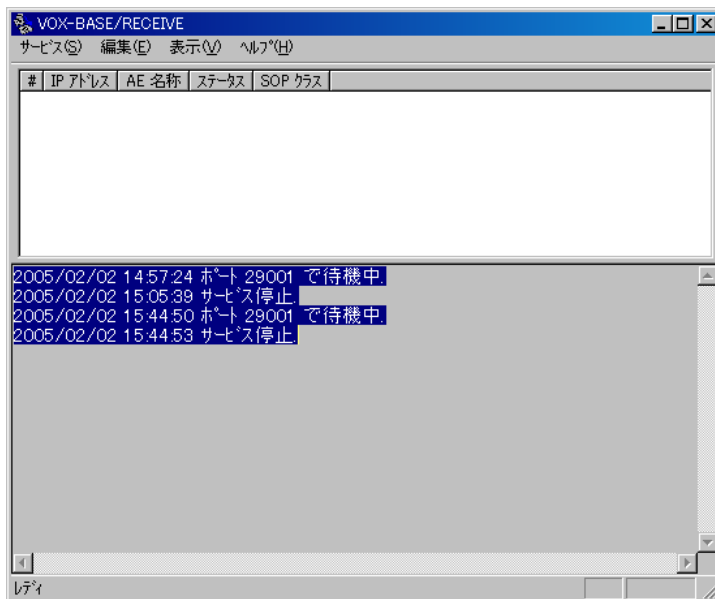
ログ出力ウィンドウに表示されるログを、クリップボードにコピーできます。



ログをコピーする前には、必ずサービスを停止してください。



1. [サービス]メニュー → [停止]をクリックします。
2. マウスカーソルで、コピーする部分を選択します。



3. [編集]メニュー → [コピー]をクリックします。
選択した部分がコピーされ、クリップボードに保存されます。

ログをすべて削除する

ログ出力ウィンドウに表示されるログを、すべて削除できます。



- [編集]メニュー → [すべてクリア]をクリックします。

第3章

サービス設定

RECEIVEで必要な設定には、[サービスの設定]ダイアログボックスで行うサービスに関する設定と、[オプション]ダイアログボックスで行うアプリケーション全般に関する設定があります。

RECEIVEのサービスに関する設定は、[サービスの設定]ダイアログボックスで行います。このダイアログボックスには、[TCP/IP]、[SCP]、[SCU]、[フォルダ階層]、[ログ]の5つのタブがあります。

[オプション]ダイアログボックスで行う設定については、[「第4章 オプション設定」<P.18>](#)をご覧ください。



サービス内容を変更する前に、必ずサービスを停止してください

操作手順は、[「サービスを停止する」<P.6>](#)をご覧ください。サービス稼働中は設定を変更できません。

[TCP/IP]タブの設定

[TCP/IP]タブでは、ローカルコンピュータがDICOMファイル受信に使用するTCP/IPのポート番号と、サービス利用者のアクセス制限を指定します。



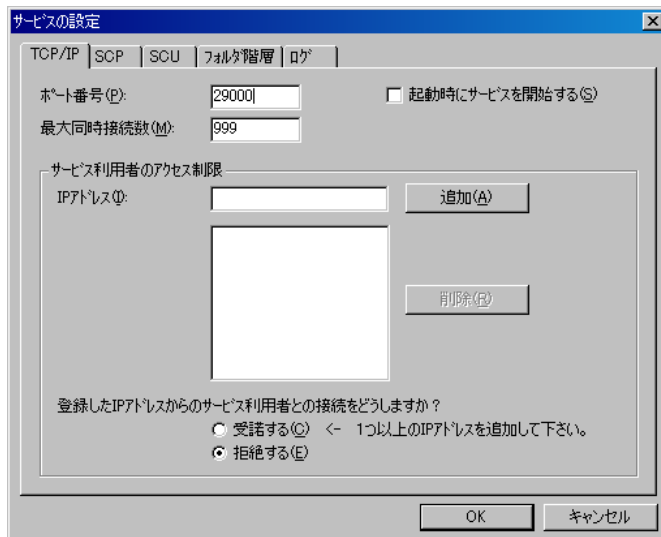
サービス利用者とは

DICOM画像を送信する側、すなわち、サービスを利用して働きかける側(SCU = Service Class User)のことを指します。



1. [サービス]メニュー → [設定]をクリックします。
[サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [TCP/IP]タブで必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[サービスの設定]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



このタブでは、次の項目を設定できます。

◆ ポート番号

ローカルコンピュータがDICOMファイル受信に使用するTCP/IPポート番号を指定します。同じコンピュータで動作する他のアプリケーションの使用するポート番号と重ならないよう注意してください。

サービス利用者 (SCU) は、ポート番号とIPアドレスを指定することで、RECEIVEに画像を送信できます。サービス利用者側のソフトウェアについても同様の設定が必要です。ポート番号を指定する前に、システム管理者に確認してください。

◆ 最大同時接続数

同時に処理できる、サービス利用者との接続数の上限を指定します。半角数字で、1～999の範囲で設定します。

◆ 起動時にサービスを開始する

チェックすると、RECEIVEの起動と同時に画像保存サービスを開始します。

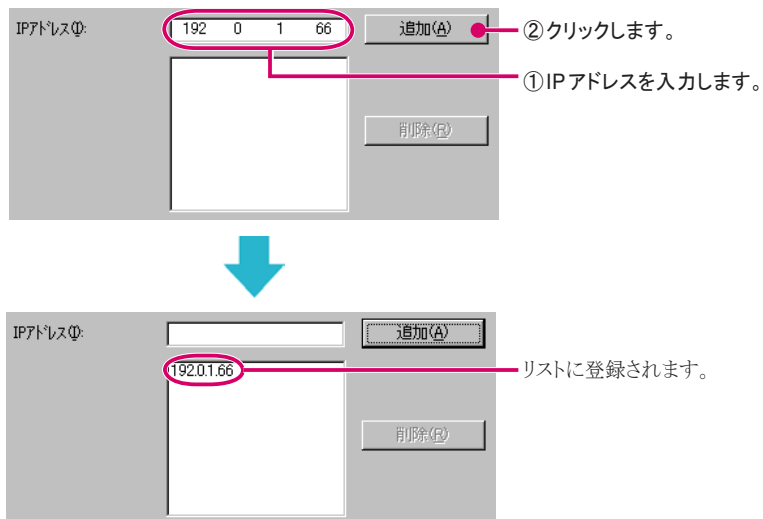
◆ サービス利用者のアクセス制限

サービス利用者のIPアドレスを登録したり、登録しているサービス利用者のIPアドレスをリストから削除します。

サービス利用者(SCU)のIPアドレスを登録する場合

手順 IPアドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

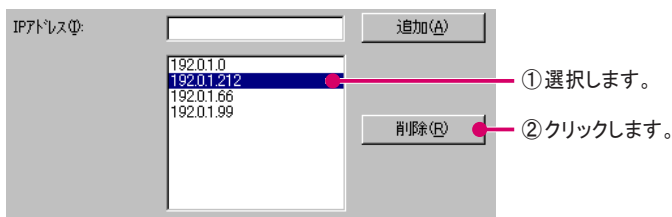
登録したIPアドレスがリストに表示されます。



サービス利用者(SCU)のIPアドレスを削除する場合

手順 削除するIPアドレスをクリックし、[削除]ボタンをクリックします。

選択したIPアドレスがリストから削除されます。



◆ 登録したIPアドレスからのサービス利用者との接続をどうしますか？

登録したIPアドレスからのサービス利用者について、接続の受諾、または、拒絶のどちらかを指定します。受諾と拒絶の両方を同時に選択することはできません。

モード	機能
受諾する	登録したIPアドレスを持つサービス利用者だけが接続できます。それ以外のIPアドレスからの接続は、すべて拒絶します。必ず1つ以上のIPアドレスを登録します。
拒絶する	登録したIPアドレスを持つサービス利用者からの接続を拒絶します。それ以外のIPアドレスからは、すべて受諾します。IPアドレスの登録がなければ、接続を拒絶しません。

[SCP]タブの設定

[SCP]タブでは、サービス提供者のAE名称とプレゼンテーションコンテキスト折衝にて受諾するSOPクラスについて指定します。



サービス提供者とは

DICOM画像を受信する(RECEIVEを起動している)側、すなわち、サービスの要求に対して応答する側(SCP = Service Class Provider)のことを指します。



1. [サービス]メニュー → [設定]をクリックします。
[サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [SCP]タブをクリックします。必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[サービスの設定]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目

名称	UID
<input checked="" type="checkbox"/> コンピュータラジオグラフィ画像保存	1.2.840.10008.5.1.1.1
<input checked="" type="checkbox"/> CT画像保存	1.2.840.10008.5.1.1.2
<input checked="" type="checkbox"/> 超音波複数フレーム画像保存	1.2.840.10008.5.1.1.3
<input checked="" type="checkbox"/> MRI画像保存	1.2.840.10008.5.1.1.4
<input type="checkbox"/> 核医学画像保存(退役)	1.2.840.10008.5.1.1.5
<input type="checkbox"/> 超音波画像保存(退役)	1.2.840.10008.5.1.1.6
<input checked="" type="checkbox"/> 超音波画像保存	1.2.840.10008.5.1.1.7
<input checked="" type="checkbox"/> 二次取得像保存	1.2.840.10008.5.1.1.8

このタブでは、次の項目を設定できます。

◆ サービス提供者

設定項目	説明
アソシエーション折衝時に次のAE名称をチェックする	この項目をチェックすると、アソシエーション折衝時にAE名称が一致しない場合、アソシエーションは拒絶されます。
AE名称	アソシエーション折衝時に、このAE名称と一致しない場合、アソシエーションは確立されません。サービス利用者(SCU)側のソフトウェアについても同様な設定が必要ですので、AE名称に関してはシステム管理者にお問い合わせください。

◆ 受諾可能な保存のためのSOPクラス

プレゼンテーションコンテキスト折衝において、受諾可能なSOPクラスを選択します。

◆ ARTIMタイマ値

DICOMにおける通信時間管理を行うARTIMタイマの値を秒単位で指定します。ARTIMタイマ値とは、アソシエーションの確立から解放、中断までのタイムアウト時間です。半角数字で、1～9999の範囲で設定します。初期値は60秒です。

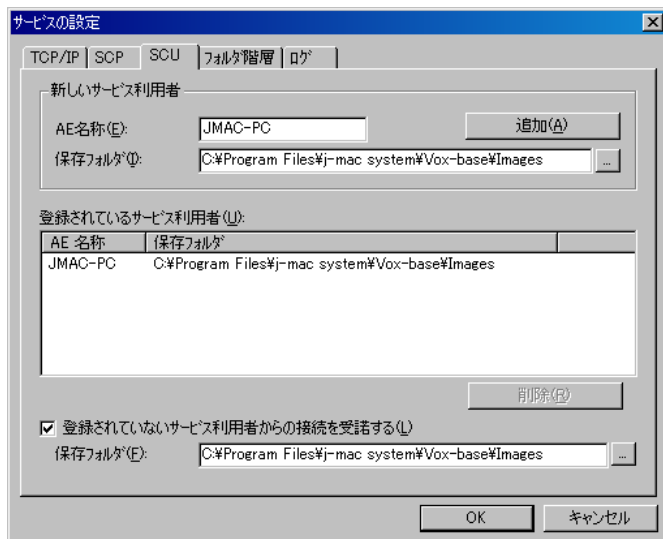
[SCU]タブの設定

[SCU]タブでは、受諾可能なサービス利用者(SCU)の登録と受信した画像の保存先フォルダを指定します。初期設定では、サービス利用者との接続をすべて受諾し、受信したすべての画像を、C:\Program Files\j-mac system\Vox-base\Imagesに保存します。

手順

1. [サービス]メニュー → [設定]をクリックします。
[サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [SCU]タブをクリックします。必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[サービスの設定]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



このタブでは、次の項目を設定できます。

◆ 新しいサービス利用者

受諾可能なサービス利用者 (SCU) の AE 名称、および受信した画像の保存先フォルダを登録します。

サービス利用者 (SCU) の登録方法

手順

1. AE 名称を入力します。
2. [保存フォルダ] の [...] をクリックします。
[コンピュータの参照] ダイアログボックスが表示されます。
3. 受信した画像を保存するフォルダを指定し、[OK] をクリックします。
4. [追加] ボタンをクリックします。
AE 名称とフォルダが [登録されているサービス利用者] リストに追加されます。

◆ 登録されているサービス利用者

登録されているサービス利用者の AE 名称と保存先フォルダが一覧表示されています。サービス利用者を削除するときは、次の手順で登録を削除します。

サービス利用者 (SCU) の削除方法

手順

1. リスト上の削除したいサービス利用者を選択します。
2. [削除] ボタンをクリックします。

◆ 登録されていないサービス利用者からの接続を受諾する

この項目をチェックすると、[登録されているサービス利用者] リストに未登録のサービス利用者から転送されてくる画像を受信できます。この場合、下の [保存フォルダ] 欄で、転送された画像を保存するフォルダを指定する必要があります。初期設定ではこの項目は選択されています。

◆ 保存フォルダ

[登録されているサービス利用者]リストに未登録のサービス利用者 (SCU) から転送される画像を保存するフォルダを指定します。初期設定では、C:\Program Files\j-mac system\Vox-base\Imagesが選択されています。それ以外のフォルダを選択するには、[...]をクリックします。[コンピュータの参照]ダイアログボックス上でフォルダを選択し、[OK]をクリックすると、選択したフォルダのパスが入力されます。

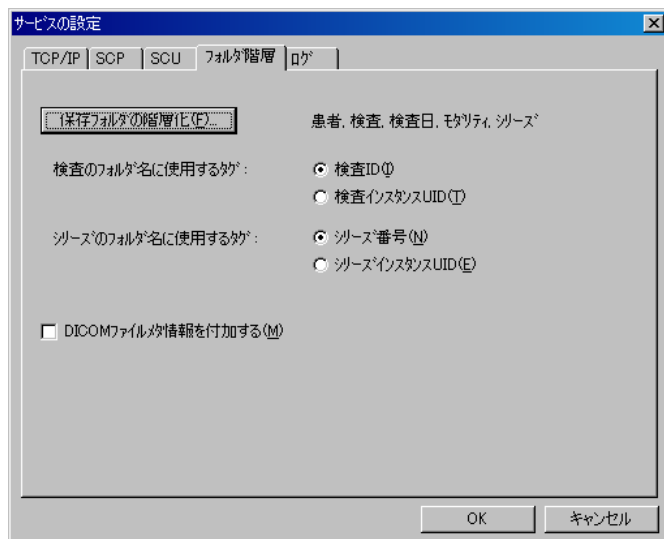
[フォルダ階層]タブの設定

[フォルダ階層]タブでは、[SCU]タブで設定した画像の保存先フォルダに対して、DICOMタグ情報を用いてどのように階層化するかを指定します。

手順

1. [サービス]メニュー → [設定]をクリックします。
[サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [フォルダ階層]タブをクリックします。必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[サービスの設定]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



このタブでは、次の項目を設定できます。

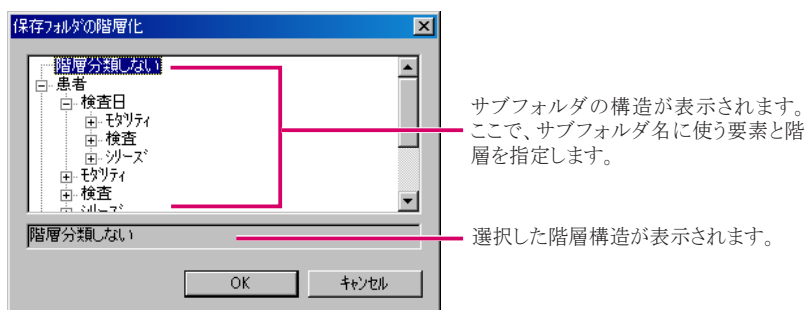
◆ [保存フォルダの階層化]ボタン

[SCU]タブで設定した画像の保存先フォルダをどのように階層化するかをこのボタンから指定します。フォルダ階層の設定は、ボタンの右側に表示されます。初期設定では、「階層分類しない」が選択されています。

保存フォルダの階層化を指定する

手順 1. [保存フォルダの階層化]ボタンをクリックします。

[保存フォルダの階層化]ダイアログボックスが表示されます。



2. 階層を選択します。

各要素とサブフォルダ命名規則の関係は、以下の表のとおりです。

要素	サブフォルダ命名規則
患者	「患者 ID- 患者名」の形式でサブフォルダ名を付けます。
検査日	「yyyymmdd」の形式でサブフォルダ名を付けます。
検査	DICOM タグの検査 ID、または、検査インスタンス UID を用いてサブフォルダ名を付けます。
モダリティ	DICOM タグのモダリティを用いてサブフォルダ名を付けます。
シリーズ	DICOM タグのシリーズ番号、または、シリーズインスタンス UID を用いてサブフォルダ名を付けます。

3. 選択内容を確認し、[OK]をクリックします。

[フォルダ階層]タブに戻ります。

◆ 検索のフォルダ名に使用するタグ

保存フォルダの階層化に「検査」が含まれる場合、サブフォルダ名に検査 ID と検査インスタンス UID のどちらを使用するか指定します。次のいずれかの値を選択します。

値	説明
検査 ID	サブフォルダ名に検査 ID を使用します。
検査インスタンス UID	サブフォルダ名に検査インスタンス UID を使用します。

◆ シリーズのフォルダ名に使用するタグ

保存フォルダの階層化に「シリーズ」が含まれる場合、サブフォルダ名にシリーズ番号とシリーズインスタンスUIDのどちらを使用するか指定します。次のいずれかの値を選択します。

値	説明
シリーズ番号	サブフォルダ名にシリーズ番号を使用します。
シリーズインスタンスUID	サブフォルダ名にシリーズインスタンスUIDを使用します。

◆ DICOMファイルメタ情報を付加する

この項目をチェックすると、受信した画像 (DICOMファイル) の先頭にDICOMファイルメタ情報を追加します。

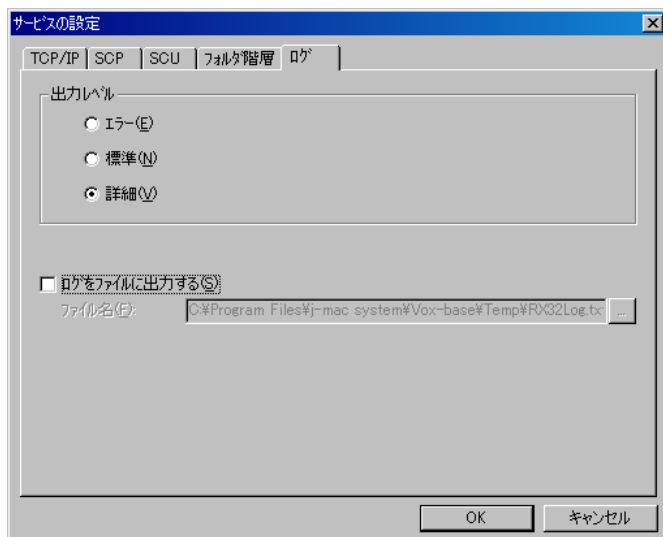
[ログ]タブの設定

[ログ]タブでは、通信ログに関するオプションを指定します。

手順

1. [サービス]メニュー → [設定]をクリックします。
[サービスの設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [ログ]タブをクリックします。必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[サービスの設定]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



このタブでは、次の項目を設定できます。

◆ 出力レベル

ログ出力ウィンドウに表示される、通信ログのレベルを指定します。次のいずれかの値を選択します。

値	説明
エラー	エラーだけを表示します。
標準	「エラー」に加え、アソシエーションの確立と保存サービスクラスについて表示します。
詳細	「標準」に加え、DICOM通信の進行状況を表示します。

◆ ログをファイルに出力する

ログ出力ウィンドウと同じ内容をファイルに出力したい場合、この項目にチェックします。

◆ ファイル名

ログファイル出力先フォルダとファイル名を指定します。[ログをファイルに出力する]をチェックしていない場合は、無効になっています。初期設定では、C:\Program Files\j-mac system\Vox-base\Temp\RX32Log.txt が選択されています。変更するには、[...]をクリックし、[ログファイルの指定]ダイアログボックス上でフォルダを選択、ファイル名を入力後[OK]をクリックします。



出力レベルを[詳細]にした場合、または[ログをファイルに出力する]を選択した場合、動作が遅くなる恐れがあります。

第4章

オプション設定

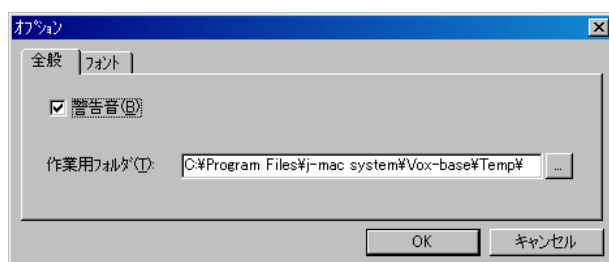
[オプション]ダイアログボックスには、[全般]と[フォント]の2つのタブがあり、RECEIVE全般に関する設定を行いません。それぞれの設定内容、方法については[\[全般\]タブ<P.18>](#)、[\[フォント\]タブ<P.19>](#)を参照してください。

[全般]タブの設定

[全般]タブでは、アプリケーション全般に関するオプションを指定します。

- 手順**
1. [表示]メニュー → [オプション]を選択します。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
 2. 必要に応じて項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
 3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



このタブでは、次の項目を設定できます。

- ◆ **警告音**
チェックすると、エラーまたはワーニングが発生したときに、ビーブ音を鳴らします。この項目は、初期設定でチェックされています。

◆ 作業用フォルダ

RECEIVEが一時的に生成する作業ファイルを保存するフォルダを、書き込み可能なドライブの中から指定します。初期設定では、C:\Program Files\j-mac system\Vox-base\Tempが選択されています。作業用フォルダを変更するには、[...]をクリックし、[コンピュータの参照]ダイアログボックス上でフォルダを選択します。[OK]をクリックすると、選択したフォルダのパスが入力されます。

[フォント]タブの設定

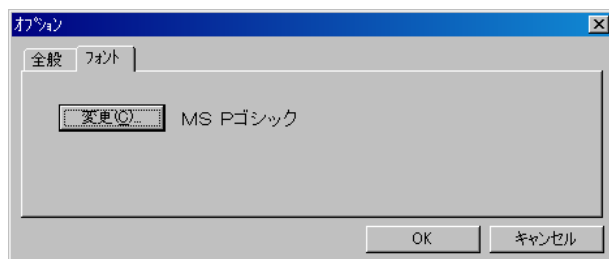
このタブでは、ログ出力ウィンドウに表示するフォントの種類を指定します。[変更]ボタンをクリックすると表示される[フォント]ダイアログボックス上で、フォントの種類、スタイル、サイズを設定します。

手順 1. [表示]メニュー → [オプション]を選択します。

[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

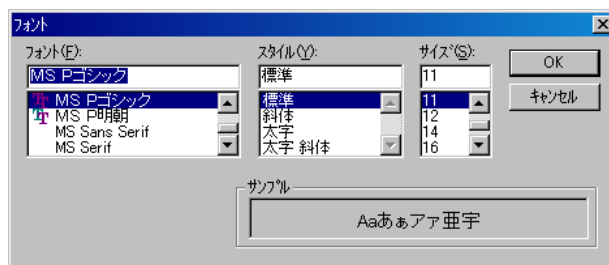
2. [フォント]タブをクリックします。

[フォント]タブの設定項目が表示されます。



3. フォントを変更するには、[変更]ボタンをクリックします。

[フォント]ダイアログボックスが表示されます。



4. フォント、スタイル、サイズを選択して[OK]をクリックします。

[フォント]ダイアログボックスが閉じられ、[変更]ボタンの横に設定したフォント名が表示されます。

VOX-BASE PERSONAL/RECEIVE 2.0 User's Guide

2009年10月15日

第6版

イーサイトヘルスケア株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町2丁目5番5号

神田駅前SKビル

TEL: 03-3252-1721

E-mail: sales@esite-hc.com

URL: <http://www.esite-hc.com/>